



櫻井定雄君の殉職を悼む

柳 樂 義 雄

七月七日、今日こそめぐり來し支那事變第四周年の記念日である。一億同胞決意を新にして前進を誓ひしこの日、山陰本線で名高い安來驛を過ぎ荒島驛に下車し、廣瀬電鐵で二十分、飯梨驛のほとり飯梨川の清流に改架中の矢田橋工事現場に於て、土木工手櫻井定雄君の殉職事件が突發した。

矢田橋は、重要府縣道安來三成線能義郡飯梨村飯梨川に架せる橋長一九五米幅員六米、徑間十四を有する木造橋で、過ぐる大正十一年の改架に係り、年次腐朽其の度を加へしを以て、昭和十五年六月工費十二萬九千圓を以て鐵筋コンクリート橋に改架することとなり、今や其の工事大に進み、竣工も間近く迫つて來て居るものである。

櫻井定雄君は鳥取市の生れ、今は父母と共に廣瀬町に在り、今次事變勃發するやいつ早く補充兵として應召し、北支に又中支に轉戦し赫々たる武勳を樹て善行賞を受け、四年の暮も迫る日に目出度歸還せし陸軍上等兵であつた。矢田橋改架工事を初むるや、君を選んで現場監督の補助員とした精勵恪勤よく事に當り、殊に一人息子として兩親の愛を一身に受け、素直で正直な孝行息子として郷黨でも人の褒め者であつた。

好事魔多しの諺にもれず、島根縣では過去二ヶ年旱害に悩むた結果あらゆる施設を爲して、本年こそはと迎へて見れば入梅以來連續せる曇天に加へ、六月二十五日より三十日にかけて降つた雨量に二〇〇耗縣下各地に災害續出し、

土木被害のみで百萬圓に垂とし、警戒をさく／＼怠りなかりし處、事變記念日の前夜よりの篠つく雨は七日の朝に至り又々二〇〇耗に近き雨量を見たので、矢田橋に於ても水位三米に上り、新橋改架工事の見張りに又舊橋の警戒に廣瀬土木管區事務所は所員を擧げて早朝より渾身の努力を拂つて居つた。殊に櫻井工手は在郷軍人として四度迎ふる此の

記念に一人張切つて活動してゐたことは言ふまでもない、然るに正午頃上流より流れ來れる流木は君が警戒中の舊橋

第九脚を一組凌つたのである。此の橋脚を流さんか下流に架せる町村道の數橋は見る／＼内に流失の災厄に逢ふは必然である。茲に於て君は帝國軍人の精神を發揮し、敢然此の濁流に身を投じ豫て心得あることとして抜き手を切つて河身に泳ぎ出でたのである。然るに奔流に流されし橋脚に達せしときは力盡きて水中深く没し、君は再び姿を見せなかつた、二日に渉る搜索によつて九日の朝に至り下流六杆の地點に於て君の變り果てた姿を見たのであつた。

人生五十年、其の半二十五才にして惜しくも君は其の守

る職場に殉したのである。然し君が此の犠牲的精神に依つて守りし矢田の舊橋は僅に一組の橋脚を流したのみで立派に守られ、聽ては出來ん矢田の新橋は月山城下山中鹿之助の孤忠と共に永遠に世人の惱裡に刻まれ、橋の守護となるのであらう。

濫情あふるる大坪島根縣知事は十日、親しく現場を視察し君の靈を慰め、遺族を稿ひ公葬の禮を以て葬儀を執行せらるることになつた。

霖雨晴れやらぬ七月十二日午後三時、山陰山陽十一ヶ國の領主尼子氏の居城月山城下廣瀬町の宗松寺に於て嚴肅なる裡にもいと盛大な葬儀は執行せられた。昨日の櫻井定雄君は今日は碧潭軒雲巖蒼龍居士と變つてゐた、縣より知事代理として田口經濟部長が參列し別記の弔辭を捧げ、能義郡内各町村長何れも列席、數多き弔辭弔電に滿座の者何れも歎歎した。斯くて鯛鳴く薄暮式は終つた予も亦席に列し、君の冥福を祈り涙の下るを覺えなかつた。

(昭和十六年七月十二日夜記す)

弔 辭

本日茲ニ職域奉公ノ誠ヲ盡シ終ニ殉職セラレタル元島根縣
土木工手櫻井定雄君ノ公葬ヲ執行スルニ際シ謹ミテ白ス
去ル七月七日ハ恰モ支那事變第四周年記念日ニ相當シ我等
國民ハ上下一致事變完遂ノ決意ヲ新ニシタル所ナルモ過ク
ル日帝國軍人トシテ出征シ勇戰奮闘セラレタル君ニハ一入
感銘深カリシコトナルベシ

此ノ日飯梨川ハ前日來ノ豪雨ノ爲洪水トナリ濁流逆卷キ君
ガ勤務セラレタル矢田橋改架工事ハ刻々危険ニ瀕シタルヲ
以テ君ハ戰場ニ於ケルト同様一身ヲ挺シテ之カ警戒ニ當リ
最モ敏捷ニ機宜ノ處置ヲ採リテ誤ラズ本橋ガ流失ノ厄ヲ免
レタルハ君ノ奮闘ニ負フ所極メテ多ク感謝措ク能ハザルモ
ノナリ

然ルニ君ハ警戒中偶々上流大渡橋流失シ其ノ流材ハ本橋ヲ
襲ヒ中央橋脚ノ流失ヲ見ルヤ下流町村道橋梁ヲ安全ナラシ
メンガ爲敢然トシテ難ニ趣キ遂ニ殉職セラル嗚呼悲シイ哉
君ハ年齡二十五國家ノ干城タリキ急迫セル時ニ處シ一身ヲ

公共ノ爲ニ犠牲トセラレシハ軍人精神ノ發露ニシテ將ニ戰
場ニ於ケル名譽ノ戰死ト異ル所ナシト云フベシ
君資性實直ニシテ明朗活潑、家ニ在リテハ父母ニ仕ヘテ至
ラザルナク軍ニアリテハ忠節ヲ盡シテ善行證書ヲ付與セラ
レ職ヲ奉ジテハ良ク職域ニ奉公シテ常ニ隣人同僚ヨリ啓愛
セラレテ衆ノ模範タルニ反カズ、如斯孝子ヲ國事多艱ナル
秋ニ失ヘルハ眞ニ痛惜哀悼ノ情惻トシテ禁ズル事能ハズ、
君ノ遺族ノ上ニ思ヒテ致サバ慰サムルニ言葉ナシ

人生五十年君ハ其ノ半ニシテ逝カレタルト雖モ君ノ名聲ハ
馳テ飯梨河畔ニ恒久的施設トシテ壯大ナル姿ニ改架セラレ
、矢田橋ト共ニ永久ニ生クルコトヲ得ルモノト信ズ今日君
ト告別スルニ際リ君ノ最後ヲ飾ラムトシテ公葬ノ禮ヲ以テ
ス翼ハ安ラカニ冥セラレシコトヲ

昭和十六年七月十二日

島根縣知事 正五位勳四等 大坪 保雄